第一新聞

発行所
第一未来館
Tel:088-655-5001
第164号

年末という、ちょっと不思議な季節

気がつけば、今年ももう残り一か月。十二月の空気には、ほのかに「終わりのにおい」と「はじまりの音」が混ざっているような気がする。冷たいけれど、どこかやわらかい。街のイルミネーションがきらきら光って、コンビニのBGMまで少し浮かれて聞こえてくる。年末といえば、大掃除。家族みんなで部屋を片づけていると、去年のプリントや古い写真が出てくることもある。あのときのテスト、あの顔。少し笑えて、少し懐かしい。そうしているうちに、つい手が止まってしまう。掃除というのは、思い出をひっくり返す作業でもあるのかもしれない。ふと見つけた答案をながめながら、「このころは苦手だったけど、今はできるようになったな」と思うこともある。成長って、日々の中では気づかないけれど、こういうときにふと顔を出す。まるで、冬の日の午後に差し込む光みたいに。

街を歩くと、「良いお年を」という声。この言葉、よく考えると少し不思議だ。まだ年は明けていないのに、もう新しい年の幸せを祈っている。たった一言なのに、やさしい気持ちがちゃんと伝わる。忙しい年の終わりに、人と人とがさりげなく心を交わす。そういうところが、日本の年末のいいところだと思う。大みそかの夜は、家族でゆっくり過ごす。テレビを見ながら年越しそばを食べ、１２時の鐘の音を聞くと、いよいよ新しい年のはじまり。カレンダーの白いページを見て、「今年はどんな一年にしようかな」と考える。その瞬間の、静かなわくわく感が好きだ。

一年をふり返ると、うまくいったことも、うまくいかなかったこともある。でも、それでいいのだ。どちらもちゃんと、自分の中に残っていく。新しい年は、まだ何も書かれていないノートのようなもの。どんな色をつけるかは、自分次第。

この冬、しっかり勉強して、少しだけ自分を更新していけたらいいね。来年の自分が、「今年の自分、けっこう頑張ったじゃないか」と言ってくれるように。

（宇都宮先生）

ゼミ中学部だより（12月）

中学3年生の皆さん、１２月の空気がぴんと張りつめる頃、いよいよ高校受験が目前に迫ってきましたね。これまで積み重ねてきた努力が、形になる瞬間がもうすぐそこまで来ています。焦りや不安を感じることもあるかもしれません。でも、そんな気持ちを抱えているのは、あなただけではありません。今、同じように机に向かっている仲間が全国にたくさんいます。みんな、未来の自分のために頑張っているのです。

受験勉強は、ただの知識の詰め込みではありません。自分の目標に向かって、計画を立て、毎日コツコツと努力する力。わからないことに向き合い、諦めずに考え続ける粘り強さ。そして、限られた時間の中で、自分を律して集中する姿勢。これらすべてが、これからの人生で必ず役に立つ「生きる力」になります。

そして、年が明けた1月2日（金）と3日（土）には、中3正月合宿が待っていますね。新しい年の始まりに、仲間とともに机に向かうその時間は、きっと特別なものになるはずです。さらに、合宿中には小6生と一緒に天神社で合格祈願も行います。神社の静かな空気の中で、心を整え、願いを込めるその瞬間は、きっとみなさんの背中をそっと押してくれるでしょう。年齢を越えて、同じ志を持つ仲間と祈る時間は、受験への覚悟を深めてくれるはずです。小6中学受験生と併せて中3生の皆さん、正月合宿の申し込み、お待ちしております。

もちろん、勉強だけでなく、体調管理も忘れずに。睡眠、食事、休憩。これらはすべて、集中力と記憶力を支える大切な要素です。無理をしすぎず、自分のペースを大切にしてください。時には深呼吸して、空を見上げてみましょう。冬の星空は、静かにあなたを応援してくれています。

最後に、あなたがこれまで頑張ってきたことは、決して無駄にはなりません。結果がどうであれ、その努力はあなたの中にしっかりと根を張り、これからの成長を支えてくれます。自分を信じて、最後までやり抜いてください。春はもうすぐです。あなたはどんな色の花を咲かせたいですか？これからの過ごし方で結果はどんどん変化していきますよ。精一杯の君になって、未来を掴み取りましょう！

（工藤先生）

勝負の月

つい先日２０２５年がはじまったかと思えば、アッという間に１２月。月日が経つのが本当に早く感じる今日この頃です。

１２月は小学６年生が受験する文理中学の入試を皮切りに、翌年の１月には附属中・城ノ内中の入試を迎えることとなります。入試まであと１カ月…というよりまだ１カ月もあるとも言えます。受験科目の中で苦手なテーマを総復習したり、各中学入試の頻出テーマを重点的に演習したり、まだまだ時間はたくさん残っています。やれることをすべてやり切り、この１２月を全力で乗り切りましょう。

また、勉強と同じくらい大事なのが体調管理です。インフルエンザやコロナ、ノロウィルス、風邪、腹痛などなど、体調を崩さない工夫と努力もぜひ実践していこう。

第一ゼミ生みんなで明るく、真剣に、輝く未来を目指して共に切磋琢磨していこう!!

（竹田先生）

冬期講習で努力を形に！

１２月に入り、街は少しずつクリスマスの灯りに包まれ、心が温かくなる季節となりました。イルミネーションの光を眺めていると、一つひとつの明かりが集まって大きな景色をつくっていることに気づきます。学習もこれと同じで、毎日の小さな努力が積み重なって、大きな成長につながっていきます。

さて、いよいよ冬休みには冬期講習が始まります。冬休みは短いようで実はとても密度の高い期間です。今まで学んだ内容を整理し、弱点を克服し、次の学期へとつなげる絶好のチャンスです。講習会では、通常の授業よりも科目に集中できる時間が増えるため、理解が深まりやすく、一気に力を伸ばすことができます。特に受験生にとっては、この冬にどれだけ本気で取り組めるかが合否を左右すると言っても過言ではありません。

冬の厳しい寒さは、時に気持ちを弱らせることもあります。しかし、寒いからこそ体を温めるように、学習でも心を温める行動が必要です。例えば、毎日短い時間でも机に向かう、苦手な単元をひとつだけ克服する、講習の予習や復習を丁寧に行う。このような行動が積み重なれば、必ず自信につながり、春には大きな成果となって返ってきます。

今年の締めくくりとして、そして来年のスタートを勢いよく切るためにも、この冬期講習を最大限に活用してください。一緒に学び、一緒に成長し、この冬を「努力が形になる季節」にしていきましょう。

（日下先生）

ハイブリット通信

ハイブリッドコースでは、新年度の受講スケジュールが動き出しました。新しいステージでの学習に、お子様たちは毎日楽しんでいる様子です。来たる大学受験に備えて、最強の先取り学習を行っているハイブリッドコース生ですが、勉強に対する緊張感や嫌悪感のようなものはまるでなく、純粋に新しい知識が増えていくことに喜びを感じているようです。普段から彼らを指導している身としては、その姿が誇らしくもあり、また羨ましくもあります。彼らを見習って、私たち大人ももっと楽しみながら仕事や子育てに邁進したいものですね。

さて、いよいよあと数カ月で、新中一生がハイブリッドコース生として入学してきます。特に現在の一年生にとっては、初めて後輩が入ってくるわけですが、存分に先輩としての姿を見せつけてほしいと思います。きっと新中一生たちは、先輩たちを見習ってものすごい勢いで追い込んできます。先取り学習においては、学年を問わずにどんどん学習を進めますので、追い抜かれないように必死で頑張りましょう。

また来年度の四月より、『難関高校対策クラス（仮）』がスタートする予定となります。新中三の中でも、中高一貫校ではなく高校受験を控えている人は、高校内容の先取りと高校受験対策の二足の草鞋を履いて頑張ることになります。時間割等は未定の部分もあり、公表はもう少し先になると思いますが、楽しみに待っていてくださいね。

（小倉先生）

共通テスト本番レベル模試

２０２５年も残り１ヶ月そして共通テスト本番まで残り５０日をきりました。受験生の皆さんは当然ですが、冬休み・クリスマス・お正月関係なく受験までの時間を勉強にできる限り割いて頑張ってください。

さて毎年この時期の恒例行事になっているのですが、１２月２１日（日）は共通テスト本番レベル模試があります。受験生にとっては最後の模試となりますが、会場は徳島大学の常三島キャンパス（教養教育４号館）で実施します。受験本番の会場が徳島大学という生徒も多いと思います。本番を想定してのぞんでください。

持ち物である筆記用具は当たり前ですが、時計も必ずもってくること。普段は教室にかけている時計を利用している生徒もいるかもしれませんが、試験会場では時計は準備されていないので必ず用意しましょう。そして次に服装です。基本的に暖房はつけますが、同じ教室でも窓側・通路側など座る位置によって、暑かったり寒かったり違いがあるので温度調節ができるように脱いだり着たりができる服も用意しておくといいと思います。あとトイレ位置の確認も怠らずしてほしいと思います。たくさんの生徒が利用するので休憩時間内で混雑していて利用できないなんてこともあるかもしれません。あらかじめ混雑していないときに利用しておくということも大事かもしれません。

多くの生徒が受験にくるので不測の事態が起こったとしてもまずは落ち着いて行動してください。

（伊勢先生）

直前期説明会

共通テスト本番まで、いよいよ５０日を切りました。受験生のみなさんは、第一志望校合格に向けて順調に対策演習を進めていることと思います。第一志望が国公立大学であっても私立大学であっても、これからの直前期の学習の進め方や出願の方針は、合否を大きく左右します。共通テストが近づくと何かと慌ただしくなりがちですので、この時期にあらためて直前期の過ごし方や出願校選びの考え方を整理しておくことが大切です。

そこで、１２月７日（日）に受験生と保護者の皆さまを対象とした「直前期説明会」を実施いたします。当日は、実際に合格した先輩たちの出願先・出願数などの具体例に加え、過去のデータをもとにした直前期の学習内容や、第一志望合格をつかむための具体的な戦略について詳しくお話しします。また、今後の出願や受験に関しては、ご家庭でのサポートがかなり重要となりますので、ぜひご両親そろってご参加ください。

受験本番までの限られた時間を有効に使い、最善の準備を進めていきましょう。

（河野先生）

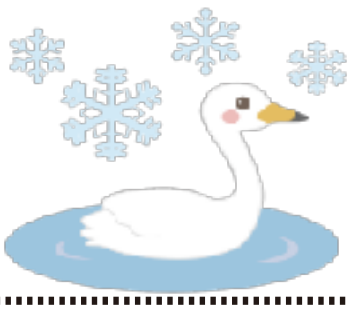
徳島から全国へ

11月2日に実施された「全国統一高校生テスト」で、東進徳島駅前校の生徒2名が全国トップ100に入り、全国大会への出場を決めました。全国大会は全国の精鋭が集う狭き門ですが、徳島駅前校からの出場は昨年の2名に続き連続出場となります。私の記憶では、なんと10年前から毎年、全国大会出場者を輩出し続けています。これは、徳島からでも全国トップレベルを目指せることを証明する結果です。

たしかに、全国大会に出場した生徒たちは学力優秀です。しかしその裏には、日々の努力と積み重ねがあります。授業後も自習を続け、一つひとつの問題に真剣に向き合う姿勢が、この結果を生み出しました。

小学生の皆さん、中学生の皆さん、そして高校生の皆さん。先輩たちは決して特別な存在ではありません。努力を続ける力こそが夢をつかむ鍵です。今の頑張りが、未来の自分を形づくります。目標に向かって、一歩ずつ前進していきましょう。

（齋藤先生）



来年を見据えて

あっという間に今年も終わろうとしていますね。今年はどんな一年でしたか？小学校に上がった一年生のみなさんは、小学校に通うという大きな変化があったことでしょう。ほかの学年のみなさんも、今年最初に立てた目標は覚えていますか？また、その目標は達成できましたか？まだ達成できていないという人はまだ大晦日まで時間がありますので、最後までがんばってみましょう。

第一駅前学童でも、今年はたくさんのみなさんが通ってくれたので、時には楽しく賑やかに過ごし、時には厳しく集中して勉強に取り組むことができたのではないでしょうか。また、第一駅前英会話では、継続して英会話の勉強に取り組むみなさんの英語力がぐんと伸び、成長が見られ、自由に英語を使って自分を表現し、講師とコミュニケーションを取る姿が見られました。どちらにおいても本当にみなさんのがんばりが徐々に芽吹いてきた一年ではないかと感じます。

また、年末は今年の自分の行動を振り返り、来年の目標を立てる良い機会です。ノートなどの紙に、今年の自分が、がんばったこと、楽しかったこと、くやしかったこと、もっとがんばりたかったこと、などを書きだしてみましょう。そして、来年は何をがんばりたいか、どんな自分になりたいか、想像して、それも書いてみましょう。

第一駅前学童・第一駅前英会話においても、来年もがんばるみんなの応援団として、「ありがとう」の感謝の気持ちを大切に、子どもたちをサポートし、相手を思いやる力・ふんばる力を育てていけたらと思います。来年もどうぞよろしくお願いいたします。

（第一駅前学童）
（第一駅前英会話）

2025年 12月.1月の予定

12月
4日（木）　徳島県統一模擬試験（中3）
7日(日)　　大学入試直前期説明会（東進）
　　小６合不合判定テスト（四谷）
12日(金)　関西大学・関西学院大学 入試説明会（東進）
13日（土）小３月例テスト（四谷）
14日（日）小４・５公開組み分けテスト（四谷）
21日（日）共通テスト本番レベル模試（東進）
　　（会場：徳島大学常三島キャンパス）
　　２学期通常授業終了
23日（火）クリスマスパーティー（第一駅前学童）15:30～17:00
24日（水）冬期講習会（各クラス順次開始）

1月
2日（金）～3日（土）
　　カウントダウン正月特訓（小６）
　　高校入試正月合宿（中３）
4日（日）　冬期学力テスト（ゼミ部）
8日（木）　３学期授業開始

お問合せ、お申込みはこちらから
0120-17-3759

言葉の力

NO.254

「頁の森」

頁をひらけば　風が鳴る
あの日の午後の　埃の匂い
机のうえの　古い影
言葉は　まだ　夢をみてゐる
少年だったころの僕が
インクの海を　泳いでゐた
紙の舟で　遠くまで
どこまでも行けると　思ってゐた
いま　夜の灯のしたで
そっと頁をめくるたび
心の奥で　誰かが笑ふ
――もう会へぬ誰かが
文字は静かに　時を刻み
沈黙の中で　世界を抱く
あゝ　本よ
君は　僕の過去を知ってゐる

とくしま中央高等学院　ブログ

中学生向けフリースクールでは、学校準拠の教材を基に、一人ひとりに合わせた個別の学習計画を行います。少人数グループで、ゆっくりと丁寧に個人のペースに合わせて学習のサポートをさせて頂きます。
コースについてですが、
月曜日・水曜日・金曜日の中から曜日を選択頂き、週1～週3回までのコースがあります。
時間帯は、午前（10：00～12：00）または午後（13：00～15：00）となっております。
また、当スクールならではのオプション講座も！！プログラミングや速読、英会話や英検対策といった講座を受講することも可能です。
皆さんとお会いできるのを楽しみにしています♪
⬇お問い合わせはコチラから

とくしま中央高等学院
中学生向けフリースクール
⇒088-655-0303
（平日10：00～17：00）